大阪教育大学 環境報告書2022

Osaka Kyoiku University Environmental Report 2022



1	学長挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・
2	環境方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
	大阪教育大学環境報告書2022の作成にあたって
3	環境マネジメント組織・・・・・・・・・・・・・・・ 3
4	大学概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
	大阪教育大学各キャンパス ・・・・・・・・・・・ 5 団地の所在地 6 柏原キャンパスマップ 7
5	環境配慮実施計画(2021年度の実施計画、評価)・・・・・ 8
	環境配慮実施計画(2022年度の目標)・・・・・・・・・・ 9
6	マテリアルバランス ・・・・・・・・・・・・・ 10
7	環境負荷データ ・・・・・・・・・・・・・・・・
8	環境マネジメント活動の推進
	環境保全活動の状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 14
	学内での取り組み ・・・・・・・・・・・・・ 15~17
	大学生協での取り組み・・・・・・・・・・・・・・ 18
9	第三者意見 ・・・・・・・・・・・・・・・ 19
	環境報告ガイドライン対応一覧表

学長挨拶

日本の教員養成大学の中では規模が大きい大阪教育大学に、近未来の日本を支える人材をはぐ くみ、羽ばたかせるための教員の養成が求められています。

本学は令和4年3月9日に、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在 り方自体を変革していくためのけん引役として、文部科学省により公募された「教員養成フラッ グシップ大学」の指定4大学の一つに選ばれました。

新たな教職実践教材の開発や、カリキュラム弾力化のための新科目の導入、学部と大学院の一 体的カリキュラム開発、教員育成指標と連動する研修プログラムの開発、教員育成の高度化を PDCAサイクルとして構想できるようにするための博士課程の設置、IR室のデータ分析に基づくカ リキュラム開発、さらにはダイバーシティ教育の一環として、学生が深い学びのために個々に利 用できる教科横断的な教科の開発などが重要です。ガバナンス改革の面では、導入を強化しつつ ある年俸制において、評価結果に基づく総金額設定の実質化、男女共同参画の観点からの女性教 員比率の積極的な拡大を図る必要があります。

こうした背景のもと、天王寺キャンパスに教育委員会・学校現場・行政・産業界・大学等が、 それぞれ抱える課題(弱み)や資源(強み)を一同に集積し、大きな成果を生み出す仕組み(教 員等育成に係る地域連携プラットフォーム)の拠点として「大阪アドバンスト・ラーニング・セ ンター(仮称)」を設置し、教員の総合バックアップセンターとして、大阪市から日本の教育を 変えていく取組を進めています。これら"知の拠点"を活用し本学のカーボン・ニュートラルを 目指しています。

また、令和2年第203回臨時国会(10月26日)において「2050年カーボンニュートラル、脱炭素 社会の実現を目指す」ことが宣言され、この宣言を実現するには、技術イノベーションのみなら ず経済社会イノベーションが不可欠であり、人文社会科学から自然科学までの幅広い知見が必要 になります。大阪教育大学は、教育研究・社会貢献活動を通じて、国・地域の政策やイノベー ションの基盤となる科学的知見を創出し、その知を普及する役割として期待されています。

実践型の教員養成及び教育・学習支援分野への人材養成を 使命とする本学において、環境マインドを持った人材を養成 することは非常に重要な意義があります。本学の学生がここ で学んだことを次の世代の子供たちへ伝えていく、環境マイ ンドを継承していくという好循環を実現するため、教育面や 運営面において、ソフト・ハードともに、様々なプログラム を実施していきたいと考えております。

これらの事項をすべて一気に進めることは難しいかもし れませんが、学長任期中の課題として捉え、構成員ととも に努力を続けてまいりますので、本学の教育研究活動への ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



国立大学法人大阪教育大学長

周本

環境方針

▲ 基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通じて、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。

また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。 このため、特に次の事項について推進して行きます。

- I. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
- 2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
- 3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
- 4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により環境保全に取り組みます。
- 5. この方針は、BBS(電子掲示板)をもって全構成員に周知するとともに、本学WEBサイトを用いて 広く社会に開示します。

2022 年 9月

国立大学法人大阪教育大学 学 長 岡 本 幾 子

大阪教育大学環境報告書2022の作成にあたって

▲ 作成方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律 (環境配慮促進法)」の施行により、大阪教育大学では、2006年度より環境報告書を作成、公表してきました。

大阪教育大学は2004年4月に法人化し、国立大学の自律的な運営が求められる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んできましたが、なお一層の努力が必要であると考えています。

大阪教育大学環境報告書2022は、本学の教職員、学生のみならず、本学の卒業生、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民等のステークホルダーに対して、2021年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成しました。

報告書の対象範囲 大阪教育大学

報告書の対象期間

令和3年度(2021年4月~2022年3月)

環境配慮実施計画の方針

2021年度に達成した環境配慮実施計画を踏襲し、より環境負荷の低いキャンパスを目指す。

参照ガイドライン等

- ●「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づく「環境報告書の記載事項」
- 環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」

発行年月

2022年 9月

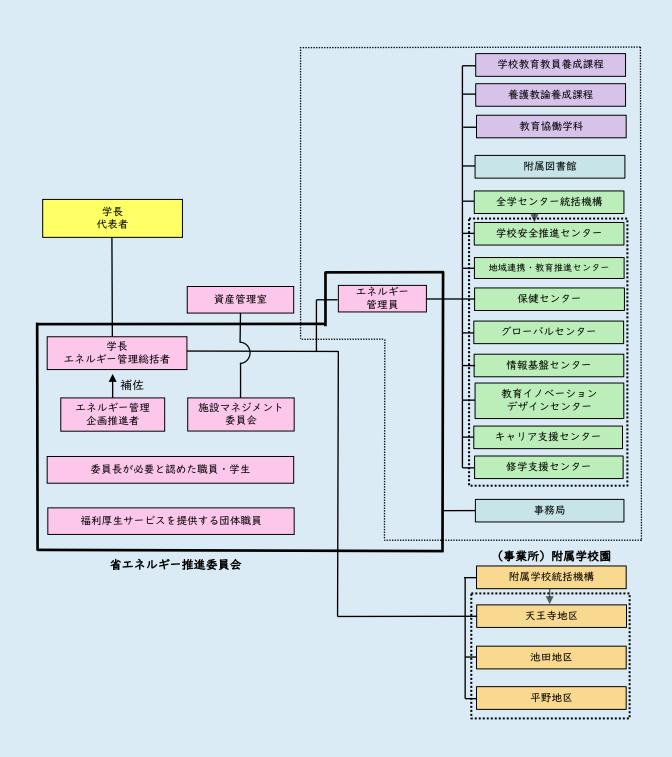
次回発行予定 2023年 9月

環境マネジメント組織

本学は、省エネルギー及び温室効果ガス排出抑制を着実に効果的に推進するため、学長のもと下図のようなエ ネルギー管理体制組織及び温室効果ガス排出抑制推進体制を整備、運用しています。省エネルギー推進委員会に は、本学の学生や生協職員にも入ってもらい、オール大教大で取り組んでいます。

▼大阪教育大学エネルギー管理組織及び温室効果ガス排出抑制推進体制

(事業所) 大学(柏原・天王寺)

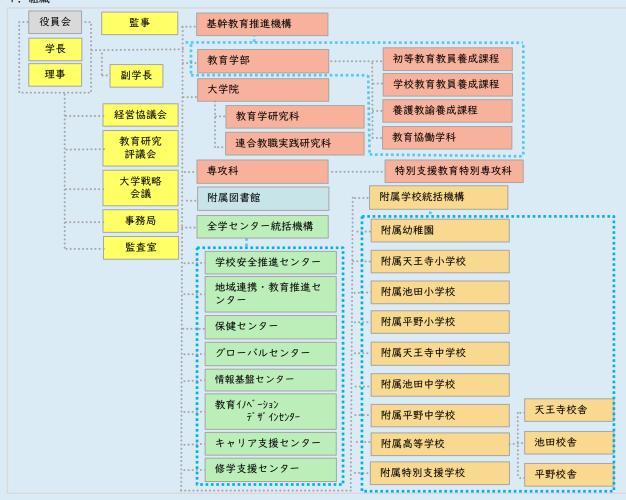


大学概要

大阪教育大学は、1874年(明治7年)5月の教員伝習所設立以来、140年を超える歴史と伝統を有する我が国有数の教員養成大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万m²のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより、情報・産業の中枢機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁しています。さらに、大阪市天王寺区、阿倍野区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応した日の附属学校園を設置し、総合的な教育系大学をめざしています。

I. 組織



2. 職員数 (令和4年5月現在)

学長	ı	教授	137
理事	5	准教授	77
監事	2	講師	27
合計	8	助教	T
		附属学校 教員	262
		事務系職員	175

3. 学生数 外国人留学生は内数で記入 (令和4年5月現在)

■教育学部				
教員養成課程・教	養学科・教育協働学科		第二部小学校	教員養成
教員養成課程	2,452		I 年次入学	2
教養学科	19		3年次編入学	5
教育協働学科	1,461		合計	7
合計	3, 932	ľ		

■大学院・専攻科

教育学研究科	115
連合教職実践研究科	240
特別支援教育特別専攻科	23

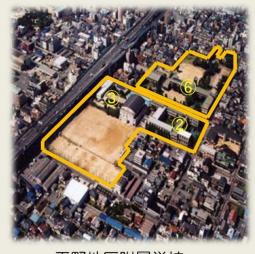
大阪教育大学各キャンパス



柏原キャンパス



天王寺キャンパス (附属天王寺小学校) (附属天王寺中学校) (附属高等学校天王寺校舎)



平野地区附属学校 (②附属平野中学校 附属高等学校 平野校舎③附属幼稚園

⑥附属平野小学校) (附属特別支援学校)



池田地区附属学校 (④附属池田小学校

⑤附属池田中学校 附属高等学校池 田校舎)

団地の所在地

柏原地区

1

柏原キャンパス

大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

天王寺地区

2 天王寺キャンパス

大阪市天王寺区南河堀町4-88 附属天王寺中学校·附属高等学校天王寺校舎 大阪市天王寺区南河堀町4-88

3 松崎町団地

附属天王寺小学校 大阪市阿倍野区松崎町1-2-45

池田地区

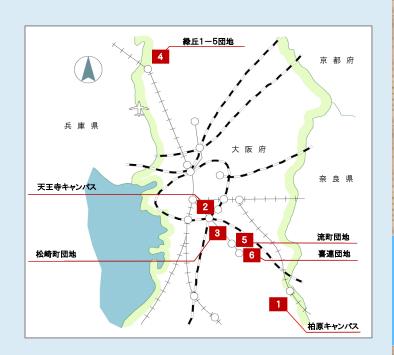
4 緑丘1-5団地

 附属池田小学校
 池田市緑丘I-5-2

 附属池田中学校
 池田市緑丘I-5-I

 附属高等学校池田校舎
 池田市緑丘I-5-I

 学校安全推進センター
 池田市緑丘I-2-I0



平野地区

5 流町団地

大阪市平野区流町2-1-79

附属平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41 附属平野中学校 大阪市平野区流町2-1-24 附属高等学校平野校舎 大阪市平野区流町2-1-24 6 喜連団地

附属特別支援学校 大阪市平野区喜連4-8-71

▼ キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、天王寺キャンパス及びIIの附属学校園が設置されています。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っています。

柏原キャンパス

平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部及び教育学部(学校教育教員養成課程 養護教論養成課程、教育協働学科)を置くキャンパスです。

天王寺地区

教育学部(初等教育教員養成課程(昼間・夜間コース))、大学院(教育学研究科(修士課程)、連合教職実践研究科(教職大学院))と附属天王寺小学校、附属天王寺中学校、附属高等学校天王寺校舎を有するキャンパスで、「人間と科学の調和を拓くリテラシー教育」を研究テーマにしています。

▼ 池田地区

附属池田小学校、附属池田中学校、附属高等学校池田校舎を有するキャンパスで、「社会とつながり、 明日を切り拓く資質・能力の育成」を研究テーマにしています。

▼ 平野地区

附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校、附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校を有する キャンパスで、「生涯発達的視点に基づいた校種間連携型一貫教育」を研究テーマにしています。

柏原キャンパスマップ



大小の講義室、実験教室、情報処理実習室、CALL(コンピュータ支援語学学習)教室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。



美術棟 (F棟)

絵画室、デザイン室、書道室、講義室、彫刻室、金工室、立体室、木工室、窯 実験実習室、講義室、セミナー室、研研究室などがあります。 工室、研究室等があります。 究室などがあります。





工房棟 (G棟)



教員養成課程棟 (C棟)

主に教育協働学科の講義室、実習室、 主に教育養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場であ 研究室などがあります。入試課はCI る「レモンルーム」や壁一面のホワイ 棟(階にあります。憩いの場であるドボードスペース「ガリレオボード」 「メロンルーム」や障がい学生修学支もあります。



体育・スポーツ棟 (H棟)





リハーサルホール、実習室、練習室、 講義室、研究室などがあります。

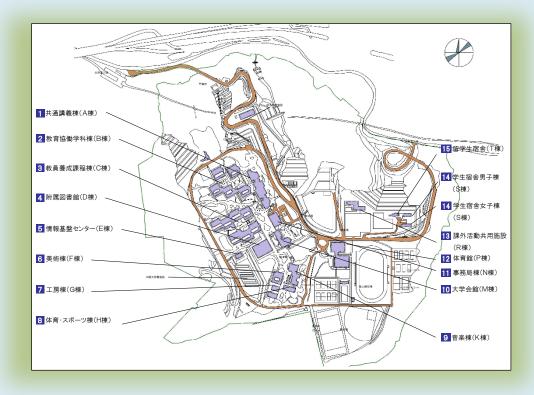


約90万冊の資料が利用できる閲覧室 情報化の推進と情報システムの円滑な やアクティブラーニングが可能なまな 運用に、教育研究の発展に寄与するこ びのひろば・グループ学習室を設置し とを目的としています。ネットワーク ています。後生スタッフによる学習サ 実習室、マルチメディア実習を、オー ポートも行っています。



大学会館 (M棟)

Dining TERRA、第二食堂、レストラン FORET、喫茶(SUN Cafe)、Shopアイ リス(書籍購買)などがあり、学生の 憩いの場となっています。









課外活動共用施設(R棟)



学生宿舎(S棟)

14



留学生宿舎 (T棟)

男子学生宿舎(収容定員60名)が1棟、 女子学生宿舎(収容定員80名)が1棟、 あり、留学生に居住の場を提供して あります。

環境配慮実施計画 2021度の実施計画、評価

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」 「環境教育等の充実」「地域貢献」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めていきます。

省エネルギー・省資源の推進 (自己評価の●は計画達成、▲は一部達成、×は未達成を示します。)

項 目	実 施 計 画	自己評価
	■エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。 ■旧フロンガスを使用する機器、老朽化した空調機器を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。 ■フロン法に基づき、点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。 ■教室等の照明器具の更新を行う際は、LED化、高効率器具等への更新し、省エネに配慮した機器の導入を推進する。 ■掲示物等で省エネの啓発を行う。	•
水使用量の節減	■掲示物等で節水の啓発を行う。 ■トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。	•

| 廃棄物の抑制

		■分別回収の徹底を強化する。	
		■大学生協のランチボックス等をリサイクルする。また、プラスチックゴミは、削減するよう取り組む。	
一般廃	廃棄物の排出抑制	■掲示によるマナー啓発活動の展開をする。	•
		■最近の海洋汚染を考慮して、プラスチック製品を脱プラスチック製品への使用に切り替えを行い、SDGsに取	
1		り組む。	
		■田紙の両面利用を推進し、使用最の節減を図る	
用紙	氏使用量の削減	■ プロールのでは、 では、 できない。 では、 できない。 できないい。 できない。 できない。 できないいい。 できないい。 できないい。 できない。 できない。 できない。 できない。 できないい。 できない。 できない。 でき	•
141	ド水景の削減	■生活排水の由水利用を行い、排水長の削減を図る	
191	IF小里 V HJ /叭	■エ/ロオ小ツT小門用とコV\ オ小里ツ出派と囚る。	
	氏使用量の削減	■用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。■学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。■生活排水の中水利用を行い、排水量の削減を図る。	

環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	■学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。	•
実験廃棄物の廃棄	■大阪教育大学実験廃棄物取扱規定に基づき、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、実験廃棄物を排出す る実験廃棄物等取扱者が廃棄処分する。	•
実験用劇物等の管理	■購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。■大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。■受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。■受払簿は使用する毎に記載する。	•

環境教育等の充実

地域貢献

森林体験学習	■新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ、柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした 森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。	•
グリーンアドベンチャー (社団法人青少年交友協会)	■キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、 キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。 キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、 植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。	•
その他	■新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ、星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、 大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした 「星空の観察会」を実施する。 ■幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。	•

🥟 学内美化

	雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	■キャンパスクリーン週間を設け、教職員等による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。 また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。	•
I	植栽の剪定	■期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。	•

環境配慮実施計画 2022年度の目標

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制・資源の再利用」「環 境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めていきます。

■ 省エネルギー・省資源の推進

項	目	実 施 計 画
エネルギー温室効果が	一使用量・ がスの削減	■エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。 ■旧フロンガスを使用する機器、老朽化した空調機器を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。 ■フロン法に基づき、点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。 ■教室等の照明器具の更新を行う際は、LED化、高効率器具等への更新し、省エネに配慮した機器の導入を推進する。 ■掲示物等で省エネの啓発を行う。
水使用量	計の節油	■掲示物等で節水の啓発を行う。 ■トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。

■ 廃棄物の抑制・資源の再利用

Γ		■分別回収の徹底を強化する。	
-	伽索を振るせい物料	■大学生協のランチボックス等をリサイクルする。また、プラスチックゴミは、削減するよう取り組む。	
		■大学生協のランチボックス等をリサイクルする。また、プラスチックゴミは、削減するよう取り組む。 ■掲示によるマナー啓発活動の展開をする。	
		■最近の海洋汚染を考慮して、プラスチック製品を脱プラスチック製品への使用に切り替えを行い、SDGsに取り組む。	
		■用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 ■学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。	
Γ	排水量の削減	■生活排水の中水利用を行い、排水量の削減を図る。	

環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	■学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。
実験廃棄物の廃棄	■大阪教育大学実験廃棄物取扱規定に基づき、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、実験廃棄物を排出する実験廃棄物取扱者が廃棄処分する。
実験用劇物等の管理	■購入者がその都度、薬品名 ・ 薬品番号 ・ 購入単位 ・ 購入年月日・受入量 ・ 使用者を受払簿に記載する。 ■大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 ■受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 ■受払簿は使用する毎に記載する。

環境教育等の充実

環境マインドの醸成	■キャンパスクリーン等を行い、自分達を取り巻く環境を自分達の手で綺麗にすることにより、 環境マインドの醸成を図る。
-----------	--

▼ 地域貢献

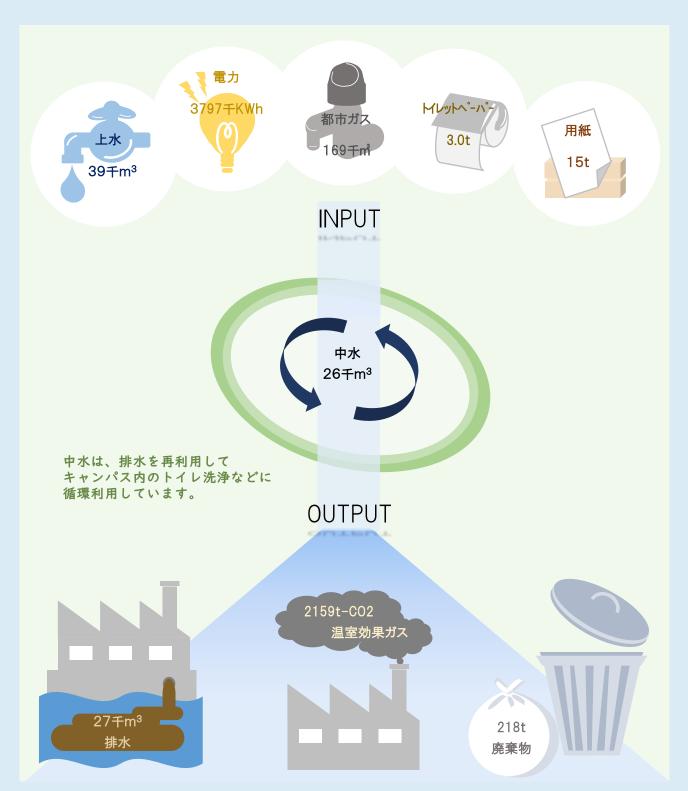
森林体験学習	■新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした 森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年交友協会)	■キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、 キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。 キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、 植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。
その他	■新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、 大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした 「星空の観察会」を実施する。 ■幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。

→ 学内美化

_	<u> </u>	
	雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	■キャンパスクリーン週間を設け、教職員等による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。 また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。
Ī	植栽の剪定	■期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。

マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、2021年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記のとおりです。



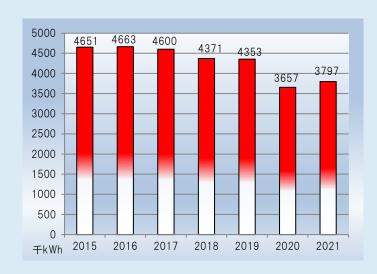
環境負荷データ

電力

- ●電力使用量削減のため 全学的な省エネ活動を推進しています。
- ●2021年度は、2016年度より進めている空調 設備の更新による高効率化を行うとともに、 年間を通しての省エネ活動として、従来よ り実施している電力の平準化や節電等を実 施しています。

コロナ禍の影響により空調負荷等が増加し 2020年度に比べ約3.8%の使用量増加となり ました。

※柏原キャンパスのデータ



都市ガス

- ●ガス使用量削減について 全学的な省エネ活動を推進しています。
- ●2021年度は、

2016年度より実施している空調設備の更新 による高効率化を行うと共に、年間を通し て省エネ活動を実施しています。

コロナ禍の影響により空調負荷等の増加によ り2020年度に比べ約44%の使用量増加となり ました。

※柏原キャンパスのデータ



温室効果ガス

- ●温室効果ガス排出量削減に努めています。
- 2021年度は、空調設備の更新による高効 率化を行うと共に、年間を通しての省工 ネ活動として、電力の平準化や節電等を 実しています。

コロナ禍の影響により空調負荷が増加し 2020年度と比べ約15%の排出量増加とな りました。

※柏原キャンパスのデータ CO2実排出量の係数は、2010年度~2015年 度の平均値としています。



環境負荷データ

上水

- ●節水対策により水の使用量削減に努めています。
- ■2021年度は、コロナ禍での、手洗い等の 徹底などの対応により、2020年度に比べ 約4割の増加となりました。
- ※柏原キャンパスのデータ



中水

- ●中水は排水を再生処理してキャンパス内で 再循環利用しています。
- ■2021年度は2020年度に比べ約3.5%の使用量 削減となりました。
- ※柏原キャンパスのデータ



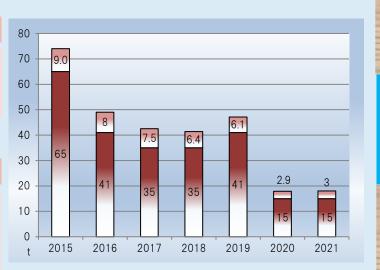
トイレットペーパー

- ●トイレットペーパーについては、2021年度は、 2020年度とほぼ同等の購入量となりました。
- ※柏原キャンパスのデータ

コピー用紙

- ●コピー用紙については、学内グループウェアーによる通知文書の電子化や電子会議の浸透ペーパーレス化およびコロナ禍の影響により2020年度は2019年度に比べ約36%の購入量となりました。
 - 2021年度は、2020年度と同等となりました。

※柏原キャンパスのデータ

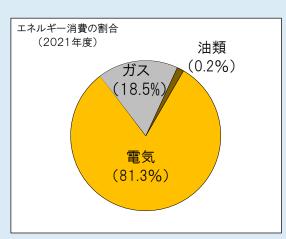


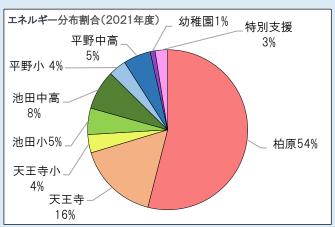
環境負荷データ

廃棄物排出量

- ●一般廃棄物、産業廃棄物の削減に努め適切な 処理を行っています。一般廃棄物については 可燃物、缶類、ビン類等に分別し廃棄処分を 行っています。産業廃棄物については、種類 毎に回収し専門業者に処理の委託を行ってい います。(マニュフェストの義務化) また、特別管理産業廃棄物については、種類 毎に回収管理し、専門業者に廃棄の委託を行 っています。(マニュフェストの義務化)
- ●廃棄物については、削減に努めることにより 徐々に量を減じることができ、2020年度から 2021年度は約2%の削減結果となりました。 廃棄物は全て「廃棄物処理法」に基づき適正 な処理を行っています。
 - ※産業廃棄物は主に金属くず、木くず、廃プ ラスチック等を破砕した体積で、重量に換算 しています。









環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況

● 一斉クリーンデーの実施について

柏原キャンパスでは、令和3年7月21日(水)、10月13日(水)に「大教大クリーンデー」と称して、快適なキャンパス環境を維持するため、教職員・学生ら構成員による草刈作業を行いました。

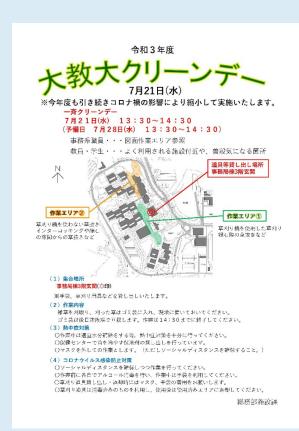
今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からソーシャルディスタンスを保ちながらの作業となりました。広範囲に及ぶ作業に、多くの参加者が汗を流しながら取り組みました。

施設課の杉本厚二課長は、「大学の緑地環境維持は、事務局並びに構成員一人ひとりが意識を 持って取り組んでいくことが重要だと考えています。事前に草刈用具の事前予約や長期貸し出し の可否などについて複数の問い合わせもあり、長年の取組により意識が根付いていると感じまし た。当日は猛暑の中、たくさんの構成員が参加してくれたことに感謝します」と語りました。





●清掃活動に取り組む職員





環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

▼ 花壇の整備

令和2年度より、理科教育専攻卒業生の記念植樹がある築山やその周辺の花壇を整備し、 四季を感じられる花々を植えています。令和3年度からは、より長い期間、様々な花を楽し めるよう、花の種類を増やしました。

春はチューリップや空色のネモフィラ、 鮮やかなピンク色のシレネが新入生を迎えました。初夏は優しい色合いのシャーレ―ポピー、夏はビタミンカラーのケイトウ、ヒマワリが暑い夏を乗り切る元気をくれます。令和4年度は対面型のオープンキャンパスが3年ぶりに開催され、大輪のヒマワリが参加者の目を楽しませました。暑さの残るなか、秋の始まりを感じさせるヒガンバナ、さわやかな秋風にそよぐコスモスが夏休みを終え、気分を新たに勉強や研究に励む学生を見守りました。

冬のはじめから春にかけ寒さに負けず、次々とパンジーやビオラが咲き続け、新春にはニホンズイセンが心地よい芳香を放ちながら咲き誇りました。他にも、夏から秋にかけて咲くセンニチコウやインパチェンス、春と秋に花を咲かせるデイジー、ナデシコなど、様々な花々が1年中、庭に彩を与えています。人の手が入るからか、築山やその周辺のイノシシによる攪乱被害がなくなりました。

これからも四季の移ろいを楽しみながら花壇の整備を続けたいと思います。



ヒマワリ



コスモス



センニチコウ



インパチェンス



シレネ(手前はパンジーとビオラ)



ケイトウ

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

■ SDGsを学ぶカリキュラムをデザイン 連合教職大学院生らがゲームで体験

連合教職大学院教育実践カコースの授業「カリキュラムデザイン演習」で、外部講師として一般社団法人インバウンド・ダイバーシティ協会の今田大介代表理事を令和3年12月6日(月)に招いて、一般社団法人イマココラボ作成のカードゲーム「SDGs2030」の体験会を行いました。この授業は、鈴木真由子教授を代表として、峯明秀教授、糸井川孝之教授、松永尚子教授の4名の高度教職開発部門の教授らでグループ指導を行うものです。

当日は、受講生や有志の院生・学生、指導する教員も含めた3名1組で、7チームに分かれてゲームを行いました。受講生らはその体験を通して、目先の損得勘定だけでなく、自分と社会との関わりや、人々をどう巻き込んでいくのか、よりよい世界とはどのようなものか、など問題意識を共有しました。

体験後に受講生からは、「SDGsカードゲームを体験して、それぞれ異なるゴールの条件であっても、経済・環境・社会を軸に同じ世界で進められていくことが分かった。プロジェクトを行う上で1つの班では動けないこともあるということや、バランスを保つ難しさ、時間が経つにつれて状況が変化する世界を分かりやすく実感することができた」「ゲーム教材の作成にあたっては、ゲームが楽しいだけではなく、生徒の学習につながるものにする必要があると感じた」「SDGsについて、生徒が主体的に学んでいけるような教材を構想したい」などの声が聞かれました。

また、本授業では、株式会社学研教育みらいの麻生征宏客員准教授と連合教職大学院の産学連携のティームティーチング授業として、SDGs教材アプリ開発プロジェクトを進めています。今後、受講生は教材のアイデアを考え、提案していく計画です。



インバウンド・ダイバーシティ協会の今田大介氏(左)、 鈴木真由子教授(右)



(株) 学研教育みらいの麻生征宏客員准教授

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

附属高等学校天王寺校舎の生徒が「Are you ready? SDGsが拓く未来」の「SDGs 座談会発表コンテスト」で優秀賞を受賞

附属高等学校天王寺校舎の3年生が、令和3年7月13日(火)に大阪市北区のハービスホールで行われた、日経ウーマノミクス2021シンポジウム 学生・高校生応援イベント「Are you ready? SDGsが拓く未来」の「SDGs座談会発表コンテスト」に出場し、住友電気工業優秀賞を受賞しました。

天王寺校舎では、主体的活動につながる力を育てるため学校設定教科・科目を設定していますが、3年生で学校設定科目「生命論」「環境論」を選択している者の中から、「Lupinus」「Q.E.D」「株式会社コペルニクス」という3つのグループを作り、それぞれが「ゴールへ向かって私達のSDGs」をテーマに発表しました。その中の1つのグループ「株式会社コペルニクス」(後藤紗希さん、榎並香さん、木村燈さん、古宮大晴さん、倉内洋翔さん、坂田遥香さんの6名)が『遊戯的防災戦略』という内容で住友電気工業優秀賞に輝きました。

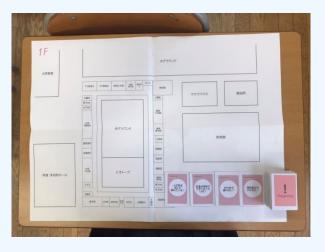
遊戯的防災戦略は、学校で地震が発生したときに、無事避難するにはどのように行動すればよいかを考える震災シミュレーションゲームです。避難するまでに、「火災の発生」「けが人との遭遇」など様々なハプニングをどう切り抜けるのかをプレイヤーが考え議論します。終了後は、プレイヤー同士の行動の振り返りや、ゲームマスターからのアドバイスを通じて、新しい防災の形を探ることを目的としています。

受賞した生徒からは、「研究は順調に進んだわけではなく、常に課題にぶつかりながらも妥協せず丁寧に議論を重ねたことで全員が納得のいくものを作り出すことができた」「卒業生や語り部さん、先生方などたくさんの人に協力していただき本当にありがとうございます」「今まで積み上げてきた防災知識が今回の研究で発揮され、自身の成長を強く実感することができた」などの感想や振り返りが寄せられました。

また、シンポジウムには天王寺校舎の2年生のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)選択者もそれぞれのセッションに参加し、見識を広めました。天王寺校舎の糠野順一副校長は「コロナ禍ではありますが、感染防止に留意して、できるだけ多くの様々場面で、できるだけ多くの生徒たちが発表を見たり、発表する機会をつくっていきたいと考えています」と語りました。



優秀賞を受賞したチーム「株式 会社コペルニクス」のメンバー



受賞した「遊戯的防災戦略」

環境マネジメント活動の推進 大学生協での取り組み

【【大阪教育大学生協の省エネルギーに関わる取り組み】

機器類の入替に際しては、省エネタイプの導入を意識し、また、日常からの店舗運営におい て省エネ活動を継続して行っています。

エネルギー使用量の削減は続いていますが、2020年度及び2021年度の大幅減少は、コロナ ウイルス感染拡大防止の為のオンライン授業導入による学内人口減少により、店舗利用の減 少・営業時間の縮小等が大きな要因であり、省エネ活動の成果とは言い難い状況です。なお、 店舗の営業が幾分回復したことにより、2021年度のエネルギー使用量は2020年度より微増し ています。

①年間	ボフ	体用导	(m³
	ハヘ	1\mathred{F} HI \mathred{F}	(III)

	購買	食堂	自販機	生協合計	エネルギー 換算
2010年度	8,210	28,965	0	37,175	1,673
2011年度	6,794	31,388	0	38,182	1,718
2012年度	7,376	29,615	0	36,991	1,665
2013年度	6,703	28,749	0	35,452	1,595
2014年度	4,406	28,893	0	33,299	1,499
2015年度	3,976	29,254	0	33,230	1,495
2016年度	5,030	28,773	0	33,803	1,521
2017年度	5,310	26,904	0	32,214	1,450
2018年度	4,491	22,832	0	27,323	1,230
2019年度	4,662	21,779	0	26,441	1,190
2020年度	3,254	4,941	0	8,195	369
2021年度	3,543	8,479	0	12,022	541

②年間電気使用量(kwh	kwh	(量	用	使	気	雷	間	年	(2	
--------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	----	--

	購買	食堂	自販機	生協合計	エネルギー 換算
2010年度	131,900	305,000	62,600	499,500	4,875
2011年度	138,655	284,498	62,586	485,739	4,741
2012年度	144,631	278,333	53,629	476,593	4,651
2013年度	134,639	284,340	50,410	469,389	4,581
2014年度	147,209	287,748	48,078	483,035	4,714
2015年度	148,363	288,781	48,432	485,576	4,739
2016年度	128,158	237,856	45,565	411,579	4,017
2017年度	119,224	207,109	52,621	378,954	3,699
2018年度	119,473	196,807	896	317,176	3,096
2019年度	117,355	175,289	804	293,448	2,864
2020年度	90,620	81,225	145	171,990	1,679
2021年度	101,288	100,788	155	202,231	1,974

③エネルギー換算合計

	エネルギー 使用量	前年比	2010年比
2010年度	6,548	_	-
2011年度	6,459	▲ 1.36%	▲ 1.36%
2012年度	6,316	▲2.21%	▲3.54%
2013年度	6,177	▲2.21%	▲5.67%
2014年度	6,213	+0.59%	▲ 5.12%
2015年度	6,235	+0.35%	▲ 4.79%
2016年度	5,538	▲ 11.17%	▲ 15.42%
2017年度	5,148	▲ 7.04%	▲21.38%
2018年度	4,325	▲ 15.99%	▲33.95%
2019年度	4,054	▲ 6.27%	▲38.09%
2020年度	2,047	▲ 49.50%	▲68.73%
2021年度	2,515	+22.83%	▲ 61.60%

④エネルギー使用量(換算値)経年推移 ■電気 ■ガス 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000 1.000

「各種取り組み〕

- ・直接的なエネルギー使用量削減にはならないもの の、環境活動として、リサイクル容器(名称:リ リパック)で販売している弁当の回収ボックスの 周知を図るイベントを実施しました。
- ・引き続き、日常の店舗運営においてチェックリス トによる省エネ活動を継続して行っています。





第三者意見

環境省「環境報告ガイドライン」に準拠して的確に編集されている。 画像や図表を多数活用する事による高い視認性、かつ平易な表現で何方でも分か りやすいよう工夫、簡潔に纏められている。

環境省 「環境報告ガイドライン(2018年版)」との対応一覧表

環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」 環境報告の基本的事項 1. 報告にあたっての基本的要件 (1)対象組織の範囲・対象期間	大阪教育大学 環境報告書2021 - -
1. 報告にあたっての基本的要件	
	_
	1 m th + 1 1 1 m th + + 2000 to 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって
(2)対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって
(3) 報告方針	大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって
(4)公表媒体の方針等	裏表紙
2. 経営責任者の緒言	学長挨拶
3. 環境報告の概要	L NV low TF
(1)環境配慮経営等の概要	大学概要
(2)KPIの時系列一覧	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
4. マテリアルバランス	マテリアルバランス
「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標	-
I. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	-
(1)環境配慮の方針	環境方針
(2)重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	環境配慮実施計画
2. 組織体制及びガバナンスの状況	-
(1)環境配慮経営の組織体制等	環境マネジメント組織
(2)環境リスクマネジメント体制	環境マネジメント組織
(3)環境に関する規制等の遵守状況	環境マネジメント組織
3. ステークホルダーへの対応の状況	-
(1)ステークホルダーへの対応	環境マネジメント活動の推進 ・地域社会への取り組み
(2)環境に関する社会貢献活動等	環境マネジメント活動の推進 ・地域社会への取り組み 環境マネジメント活動の推進 ・学生の取り組み
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	-
(2)グリーン購入・調達	-
(3)環境負荷低減に資する製品・サービス等	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み ・学内での取り組み
(4) 環境関連の新技術・研究開発	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み ・学内での取り組み
(7)環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標	-
1.資源・エネルギーの投入状況	-
(1)総エネルギー投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(2)総物質投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(3)水資源投入量及びその低減対策	環境負荷データ
2. 資源等の循環的利用の状況(事業エリア内)	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	-
(2)温室効果ガスの排出量及びその低減対策	環境負荷データ
(3)総排水量及びその低減対策	環境負荷データ
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	環境負荷データ
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	環境マネジメント活動の推進 ・環境保全活動の取り組み
「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標	-
理長町度収益の収文的側右に関すり出口	-
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況 その他の記載事項等	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み –
	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み ー ー ー 第三者意見



大阪教育大学は、この自然に囲まれたキャンパスの立地環境を活用し、 生きた教材として、優れた環境人材の創出を目指します。本学の学生・ 教職員の環境への取り組みにご理解いただき、ご指導、ご支援をお願い いたします。

環境報告書ホームページ https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/joho/houtei/



編集チーム

課長			杉本	厚二	
企画係	係主	長任	岡 白 大 宮 山	稳德 真樹子 了次 圭子 南海子	お問い合わせ先 国立大学法人 大阪教育大学 総務部施設課企画係 電 話: 072 - 978 - 3333
建築係	係主	長 任	薮内 伴海	君予 和彦	F A X: 072 - 978 - 3345 MA I L: sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
電気係	係	長	西田	哲	URL: http://osaka-kyoiku.ac.jp/
機械係	係	長	谷口 榎本	法敏 恵子	